

## 「グリーン物流パートナーシップ会議※特別賞」を受賞

～カーボンニュートラル実現に向け、「商流を越えた物流集約による積載率向上」を実施～

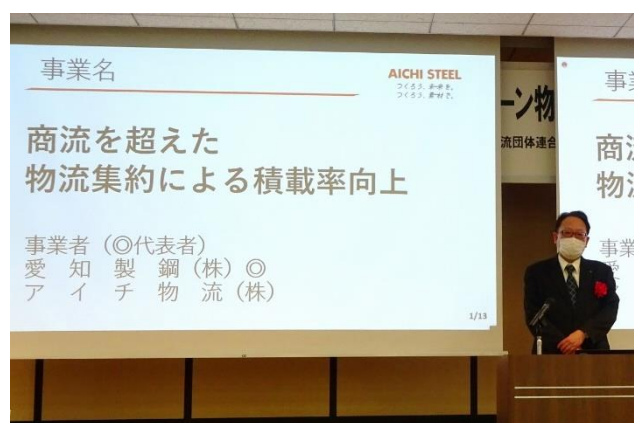
愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）と子会社のアイチ物流株式会社（代表取締役社長：向井眞二）は、「令和3年度 グリーン物流パートナーシップ会議」の「優良事業者表彰」にて、「グリーン物流パートナーシップ会議 特別賞」を初めて共同受賞しました。

愛知製鋼グループは2050年カーボンニュートラルの早期実現を目指して、徹底的な省エネや技術革新に取り組んでいます。今回は、商流を越えて物流集約した環境負荷低減活動事例が高く評価され、表彰されました。

本事例は、人手不足など運送事業者の困りごとに向き合い、定例連絡会で低積載率ルートの見える化に取り組んだことを発端とし、商流全体に協力を呼び掛けることで商流を越えた物流集約化を行いました。この取り組みによって積載率が20%向上し、運行数を大幅に削減できたことにより、年間210トンのCO<sub>2</sub>排出量削減を達成しました。

今後も使用エネルギーの徹底的な削減や革新的な技術開発、自動車業界に貢献できるエコ製品開発、再生可能エネルギーの利用拡大等を積極的に推進し、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※ 日本ロジスティクスシステム協会、日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省、日本経済団体連合会（オプザーバー）の協力により発足。物流分野のCO<sub>2</sub>排出削減に向けて業種業態の域を超えて互いに協働することを目的に運営されている



12月15日（水）に開催された表彰式と、発表の様子